

特殊な環境で排泄するのが好きな JK の一日

第一話 リサの場合

登場人物

リサ

高校1年生、身長 157 センチ、B カップ、ショートボムが好みで女優のような可愛さがある。

ジリリ

リサ「ふう。今日も学校か。そのまえに朝のおしっこを入れなきゃ。」

彼女は容器放尿にハマっている。しかし家族にこの事は話していない。そのためいつも決まって公園の管理事務所の多機能トイレを使う。

空きペットボトルを1本カバンに忍び込ませると家を後にした。

リサ「ジョギング行ってきます。」

母親「行ってらっしゃい。」

リサ「今日はどれくらい出るかな？」

早速公園の管理事務所の多機能トイレに入る。多機能トイレを使う理由はオストメイト用便器(人工膀胱の人が使う大きなシンクのような便器)があるからだ。オストメイト用便器に向かいペットボトルにじょうごを刺してお股に当てる。

お試し版はここまで。このほかにあと二話おしっこにまつわるお話があります。一話完結型なので読みやすいです。ぜひ製品版をご購入くださいね。